

科目名称	臨床看護概論Ⅱ	学年学期	単位数	時間数
		2学年後期		29
担当教員	田中美恵子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

看護の視点で健康障害をとらえ、看護の基本として様々な健康上のニーズをもつ、あらゆる年齢層の人々に既習の基本的な看護の考え方や、知識・技術を統合して応用するプロセスを学習する。

健康障害をもつ患者とそれを支える家族が身体的・精神的・社会的にどのような援助を必要とするようになるかを、多角的に学習する。

【2】学習目標

1. 症状を示す患者の病態をとらえ、それに対する看護のポイントを理解できる。
2. 医療施設における看護、外来看護の役割、地域・在宅看護の基礎について理解できる。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力

- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
- 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。

II. 看護を実践する力

- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
- 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
- 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。

III. 人間関係を構築する力

- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
- 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。

IV. 主体的に学び続ける力

- ☐ 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
- ☐ 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	第4章 主な症状に対する看護 貧血のある患者の看護、出血傾向のある患者の看護	講義
2	ショック状態の患者の看護	講義
3	咳嗽・喀痰のある患者の看護、悪心・嘔吐のある患者の看護	講義
4	呼吸困難のある患者の看護	講義 DVD
5	嚥下困難のある患者の看護	講義
6	排尿障害・排便障害のある患者の看護	講義
7	黄疸のある患者の看護、発熱のある患者の看護	講義
8	脱水のある患者の看護	講義
9	浮腫のある患者の看護	講義 演習
10	痛みのある患者の看護	講義
11	感覚障害のある患者の看護、意識障害のある患者の看護	講義 DVD
12	不安・抑うつのある患者の看護	講義
13	第6章 継続看護と多様な場における看護 地域包括ケア時代の継続看護	講義
14	多様な場における看護	講義
15	試験	

【5】評価方法

筆記試験

【6】教科書

中村恵子 他著「看護学入門7 基礎看護Ⅲ」第3版 メヂカルフレンド社 2022年

【7】参考書

水戸優子 他著「新看護学8 基礎看護[3] 臨床看護概論」医学書院 2022年

藤野彰子他 編著「新訂版 看護技術ベーシックス 第2版」サイオ出版 2022年

竹尾恵子 監修「看護技術プラクティス 第4版 2022年

【8】受講生へのメッセージ

- ・臨床看護への理解を深める授業です。楽しく学びましょう。
- ・教科書の該当ページ、を読んで講義に臨みましょう。
- ・看護概論、基礎看護技術、成人看護、老年看護、母子看護、精神看護で既習のもの、順次学習するものがあります。

既習のものは復習しておきましょう。